

令和7年7月31日

南箕輪村議会議長 様

提出者名 百瀬 輝和

議員研修・議員視察結果報告書

研修名または視察テーマ	バイオマスボイラーの視察
研修・視察実施場所	長野市若穂、群馬県たんげ温泉
研修・視察の期間	2025年7月28, 29日
研修・視察の成果等	<p>大芝の湯に導入予定のバイオマスボイラーの視察を先進地の長野市若穂穂保温泉と群馬県たんげ温泉の取り組みを視察してきました。</p> <p>長野市ではバイオマス産業都市構想をR3年6月策定R4年2月認定され取り組んでいる。保科温泉はH24年3月に木質ペレットボイラーを導入して現在に至っているが、トラブル等の対応で重油ボイラーと併用している。温室効果ガス削減等メリットはあるが、点検作業の増加、負荷変動の対応で重油ボイラー併用が必要とスペースが広く取られるデメリットもあるため市の施設で導入は進んでいないようだ。</p> <p>群馬県たんげ温泉では、(株)WBエナジーの導入支援を受けてバイオマスボイラーを2017年2月2台導入して6箇所ある温泉全てをまかなっていた。2台導入は故障対応のためで能力は1台で充分である。木質チップを群馬県森林組合連合会から上質のチップを作ってもらい使用をしていた。上質のため灰の処理作業も軽く灰は畑で再利用されている。木質チップを作っている群馬県森林組合連合会渋川県産材センターを見学してきました。</p>